

令和7年度

一宮小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①自ら考え、主体的に学習に取り組む学習活動の実践
- ②考えを伝え合い、学び合う授業の実践

校長

秦 啓子

学力向上推進員

阿部 沙苗

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

教員からの報告や提案、テスト、学校評価アンケートの結果等を元に、定期的に取り組み状況の情報交換・見直しを行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○真面目に授業に取り組む児童が多い。 ○漢字の読み書き、四則計算等の基礎的な力は概ね定着してきている。 ●文章を読むことに抵抗があり、内容を正確に読み取ったり、活用したりすることに課題がある。 ●読書が苦手な児童が多い。	・学年に応じた、読み、書き、計算の基礎的な力を確実に身につけ、様々な学習場面で活用できる。 ・タブレットを活用し、復習問題を解いたり、調べ学習をしたりすることができる。 ・自分で本を選び、読書を楽しみ、文字を読むことに慣れる。	・漢字や算数のミニテストを定期的に行ったり、ミライシードやキュビナを活用して繰り返し問題に取り組んだりする。 ・日記、朝の会のスピーチ、読書等を通して、語彙力を高める。 ・担任による読み聞かせや、縦割り班での読書活動、全校児童への図書室利用の呼びかけ等を行うことで読書の習慣化を図る。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○友達や教師の話を聞く態度が身に付いてきている。 ○作文や手紙、行事の感想等において、文章で表現できる児童が多い。 ●語彙力が少なく、自分の考えに自信をもてない児童がいる。 ●自分の考えや思いを、筋道を立てて説明したり、友達の考えと比べてよりよい考えを練り上げたりすることに課題がある。	・話し手がどんな内容の話をしているのかを、最後まで落ち着いて、正しく聞き取ることができる。 ・自分の考えを、根拠や理由を明らかにしながら、自分の言葉で表現することができる。	・タブレットやホワイトボード、付箋等を用いて、自分の考えや思い述べる場面を設定する。 ・話し方、聞き方のモデルを教室に掲示し、常に意識させる。 ・こども新聞を活用し、感想を書いたり、伝え合ったりする活動を行う。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○与えられた課題は真面目に取り組む、最後までやり遂げる児童が多い。 ○静かに話を聞き、学習規律を守ろうとする雰囲気が育ってきている。 ●課題を解決するために、見通しをもったり、計画的に取り組んだりすることに課題がある。 ●難しいことに粘り強く取り組んだり、競い合い高め合ったりする意欲に乏しい。 ●宿題以外で家庭学習に取り組む児童は少ない。	・課題解決に向けて、見通しをもって計画を立てることができる。 ・難しい課題に対して、友達と協力して取り組むことができる。 ・自主学習の内容を自分で決めて取り組むことができる。	・本時のめあてをはっきりさせ、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにする。 ・児童が主体的に取り組めるような学習活動や体験活動を取り入れる。 ・「家庭学習の手引き」を作成し、家庭と連携しながら家庭学習の習慣化を図る。 ・ポジティブな行動支援を行い、子どもが自信をもって取り組めるようにする。			